

平成26年度 学校給食における地場食材活用セミナー

長野会場

～子どもたちの健康な心と身体を育むために～ 開催報告

長野県塩尻市は行政の柱として農業と教育の再生を掲げ、教育現場と生産現場の連携で地産地消の豊かな学校給食を実現しています。学校給食レシピサイト「こんこんレシピ」の開設や「給食レストラン」の取組み、地場農産物の利用・調整を進める農産物流通コーディネーターの設置など、先駆的な活動で注目を集めています。

■日程 平成26年9月25日(木)～26日(金) ■参加者:60名(現地研修28名)

■場所 長野県塩尻市 1日目 ホテル中村屋 1階「平安の間」
2日目 矢沢加工所企業組合、塩尻市農業公社生産圃場
塩尻市立桔梗小学校、新鮮市場ききょう

実施プログラム

1日目・9月25日(木)

(すべて敬称略)

13:00 開会

主催者挨拶 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 専務理事 山野 昭二
開催地挨拶 (公財)長野県学校給食会 理事長 清水 有二

13:20 テーマ1「教育再生：学校教育現場が取り組む地産地消と食育活動」

話題提供①(20分)

「塩尻市の学校給食をめぐる取組み」

塩尻市こども教育部 教育総務課学校給食係 係長 竹中 康成

活動紹介①(60分)

「塩尻市立桔梗小における学校給食と食育活動」

塩尻市立桔梗小学校 栄養教諭

杉木 悦子



- 15:00 テーマ2「農業再生：生産現場が進める地場農産物の利用拡大」
 話題提供 ②（20分）
 「塩尻市が進める農業再生プロジェクトと地産地消の取組み」
 塩尻市経済事業部農林課農政係 係長 花岡 昇
 活動紹介 ②（30分）
 「学校給食を支える農産物流通コーディネーターの活動」
 （一社）塩尻市農業公社 農産物流通コーディネーター 村上 かほり
- 15:50 テーマ3「楽食・育膳：市民の健康を支える塩尻市食育活動推進プログラム」
 塩尻市健康づくり課 健康支援係 管理栄養士 今井 きみ子
- 16:20 全体意見交換(70分)「学校給食における地場農産物活用と教育効果を探る」
 ～参加者・報告者とともに質疑応答と意見交換を行った～
 アドバイザー 食ジャーナリスト 金丸 弘美
 佐賀県武雄市立若木小学校 栄養教諭 福山 隆志
 コーディネーター 東京農工大学大学院 教授 野見山 敏雄
- 17:30 1日目終了・事務連絡



(公財)長野県学校給食会の協力による、長野県内の地域別郷土給食のレプリカ展示

2日目・9月26日(金)

- 9:00 塩尻駅発
- 9:30 **現地訪問① ◆矢沢加工所企業組合**
 (味噌・果樹等加工場、生産現場等)
 ※学校給食に供給する味噌やジュース等を地元の女性起業グループが製造。加工現場を見学し、塩原輝子代表をはじめとするメンバーの皆さんと意見交換。
- 10:50 **現地訪問② ◆塩尻市農業公社 生産圃場**
 ※公社が管理する生産ほ場を訪問し、松本一本ねぎの生産過程等を公社の成田均常務理事より伺った。



11:30 現地訪問③ ◆塩尻市立桔梗小学校（児童数約700名）

※学校農園や給食調理現場（自校調理方式）を見学し、伊達学校長とともに
地場食材の納入から給食になるまでを取材したDVDを視聴。2~3名ずつ各教室
に分かれ、子ども達と一緒に当日の給食を頂いた。



塩尻市立桔梗小学校で試食した学校給食
(キムタクごはん、レタススープ・ナイアガラ等)



給食残さの回収と残さのリサイクルについて
杉木悦子栄養教諭より伺う



13:40 現地訪問④

◆新鮮市場さきょう(農産物直売所)
学校給食食材集荷場

※JA塩尻市の農産物直売所「さきょう」と直売所に隣接した学校給食用の農産物集荷場を訪問。

15:00 解散「塩尻駅前」



【長野会場】参加者アンケートから

1 今回のセミナーの内容について

- ・塩尻市の取組みが素晴らしかった（複数）
- ・学校給食を単なる食事にとらえるのではなく、食育を通して子ども達が健康に生きていく上での知恵・知識をどう教えていくか具体的に取り組んでいることが理解できた。
- ・食育で地産地消の重要性をしっかりと認識して活動していることが理解できた。
- ・学校給食を供給する上での工夫点や苦勞などを学ぶことが出来た。
- ・学校給食現場を見る機会がこれまでなかなかなかったので良かった。
- ・両日ともに内容の詰まった研修で、大変勉強になった。
- ・学校給食における地場産活用の先進事例として素晴らしい塩尻市の取組みが参考になった。
- ・パワフルな栄養士の先生やコーディネーターの話を聞き、自分も頑張らないと感化された。
- ・現場の取組み内容を細かく知ることができ、勉強になった。
- ・情報の共有と目的が明確化した。
- ・地場産物の納入の流れが確認できた。
- ・金丸さんの話で、ファーストフードの問題と肥満が及ぼす経済損失と学校給食の果たす役割が重要であることを知ることが出来た。

2 今後希望する内容

- ・学校給食における地産の経済効果について。
- ・給食を提供する上での工夫点や問題点などを学べる機会にして欲しい。
- ・似たような課題を持った人とワークショップ、グループ討議ができる機会があると有り難い。
- ・学校給食は単独校方式とセンター方式とでは運営が違う。次はセンター方式の先進事例を紹介して欲しい。
- ・各学校の取組みなど、多くの実施事例を知りたい。
- ・今後も学校給食に特化したセミナーを実施して欲しい（単独校やセンターなどの違いがあるため）。

3 今後の開催希望地・希望講師

- ・長野県の中信地区でも実施して欲しい
- ・健康寿命延伸都市である松本市の取組み（菅谷市長）
- ・JA 以外で地産地消の流通を進めている事業者等

4 課題等

- ・農業サイド、教育現場、教育委員会、保健福祉サイドと様々な窓口があり、話がなかなか進まない。村上さんのようなコーディネーターがいるとずいぶん変わるだろうと感じた。強いリーダーシップのとれるコーディネーターが求められると思った。
- ・現場（学校の栄養士や調理師）の理解と関わる人間全員がチームとして仲間として一丸となって取り組むことが大切と思うが、実はそれが一番難しい。
- ・虫などの異物混入、不揃い、安定納入、下処理の手間がある。
- ・コーディネーターがいるので現在困っている課題はない。
- ・生産物をつくる生産者を育てる重要性があると確認した。学校給食のために作るという意気込みのある人の存在と計画を立てて進めていくことが大事だと思った。
- ・塩尻市農業公社のような流通コーディネーターの存在が必要だ。
- ・少子高齢化のさらなる進展が課題。
- ・調理員、栄養士と生産者の連絡体制や衛生管理。
- ・絵に描いたモチになることが多いので、そうならないよう間に入る実行者がとても重要だ。
- ・農業の再生産可能な価格を見つけて納入価格をつけているところがあるのか。

5 意見・感想

- ・貴重な機会をありがとうございました。塩尻市のような取組みを他の地域でも取り組むためには何が必要なのか考えさせられた。もっと広く広がってほしい。
- ・とても良いセミナーだった。